

日本を核戦争に導く危険

「ヒロシマ・ナガサキをくり返すな」一国民共通の願いです

日本原水爆被害者団体協議会 「核共有提言」撤回を

日本被団協は2日、「声明」を発表しました。日本維新の会の「核共有提言」にたいし、「核兵器は『絶滅』だけを目的とした狂気の兵器。人間として認めることができない絶対悪の兵器」「日本を核戦争に導き、命を奪い、国土を廃墟にする危険な提言」と指摘し、撤回を強く求めています。

いまやるべきことは、唯一の戦争被爆国としての役割を果たすこと

非核三原則（核兵器を持たず、つくらず、持ち込ませず）は、広島・長崎の非人道的な惨禍を経て、日本が国是と定めたものです。

国連の「核兵器禁止条約」核兵器を「非人道的で違法」とする条約です。
※核兵器の開発・保有・使用・威嚇・援助のすべてを禁止＝2021年1月22日発効。

「非核三原則」は世界の主流
核兵器禁止条約への参加を

ロシアによるウクライナ侵略を受け、日本維新の会が外務省に「核共有」の「議論を開始する」ことを「緊急提言」しました。維新は、政党として日本を核戦争に導く危険な「提言」を決定したといえ、その責任は重大です。

維新の「提言」

「核に関する議論をタブー視することなく、非核三原則の見直し、米国の持つ核戦力の共有に関する議論を開始する」ことを政府に要求しています。

「核共有」とは

米国の核兵器を日本に配備して共同使用すること。日本の自衛艦や戦闘機に核兵器搭載を可能にすることで、日本の核兵器使用につながる。

維新の松井代表

非核三原則を攻撃

維新の松井一郎代表は「非核三原則は昭和の価値観」などと攻撃していますが、「非核三原則」は「昭和の価値観」どころか、21世紀のまさにメインストリーム（主流）です。「非核三原則」の精神を世界規模で条約にしたのが国連の「核兵器禁止条約」です。

ロシアのプーチン政権が核兵器による威嚇を公然と行うもとの、いま世界が痛感しているのは、核兵器は人間に決して持たせてはならない「絶対悪」の兵器だということです。

その時に「日本も核共有をやる」という議論や「提言」は「核による脅威に核で対抗しようというものです。これでは、プーチン政権と同じ立場に身を置くことになります。

世界が核による脅威に核で対抗するならば、世界の多くの国ぐにが核兵器を持つことになり、人類社会は破滅のふちに追いやられることになります。

いま日本がやるべきは、国連の核兵器禁止条約への参加であり、「核兵器のない世界」を実現する先頭に立つという唯一の戦争被爆国としての役割を發揮することです。

「核共有提言」を撤回せよ 日本共産党

日本は「核のない世界」を実現する先頭に